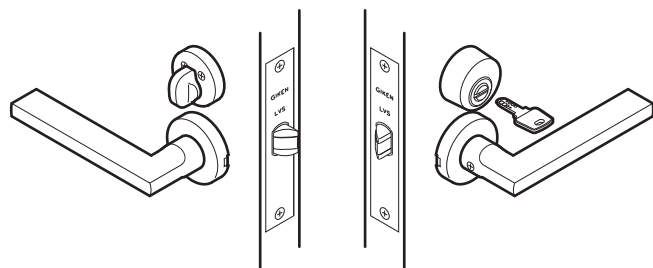


# セパレート丸座 レバーハンドル錠 GFシリンダー仕様 取付説明書

地球にやさしく  
品質の向上へ ISO 14001 9001 川口技研

営業本部 / 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41  
TEL 048(255)5411 FAX 048(255)8228  
ホームページ <http://www.kawaguchigiken.co.jp/>



施工前にこの取付説明書をよくお読みいただき、  
安全に正しく施工されますようお願い致します。

**注意** この表示は誤ると「傷を負うか、又は物的障害の可能性が想定される」内容です。



禁止

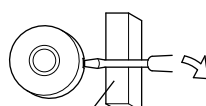
※本製品は屋内専用です。  
玄関や浴室、屋外では使用しないでください。  
※防犯効果の必要な場所での使用禁止。  
本製品は、防犯効果はありません。  
※電動ドライバーは使用しないでください。  
各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、  
作動不良が無いようにしっかり締付けてください。



## 各部名称

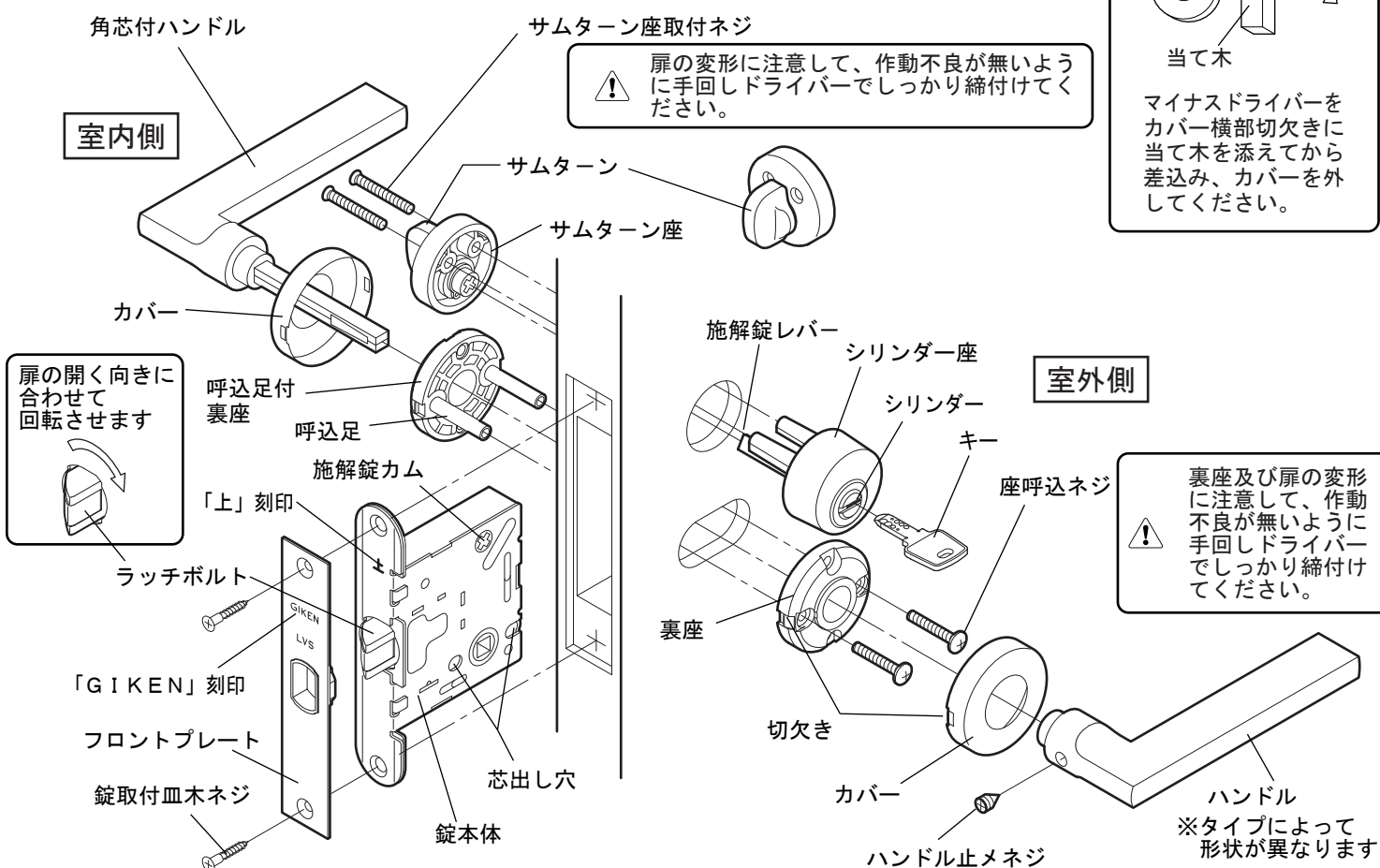
- ハンドルの取付けは、角芯付ハンドルを室内側に取付ける様をお願いします。  
(万が一ハンドルが抜けてしまった場合に角芯付ハンドルを室内側にしておけば、ドアを開ける事が出来ます。)
- ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります。  
その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取付けてください。

### カバーの外し方



当て木

マイナスドライバーを  
カバー横部切欠きに  
当て木を添えてから  
差込み、カバーを外  
してください。



扉の変形に注意して、作動不良が無いように  
手回しドライバーでしっかり締付けてください。

裏座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように  
手回しドライバーでしっかり締付けてください。

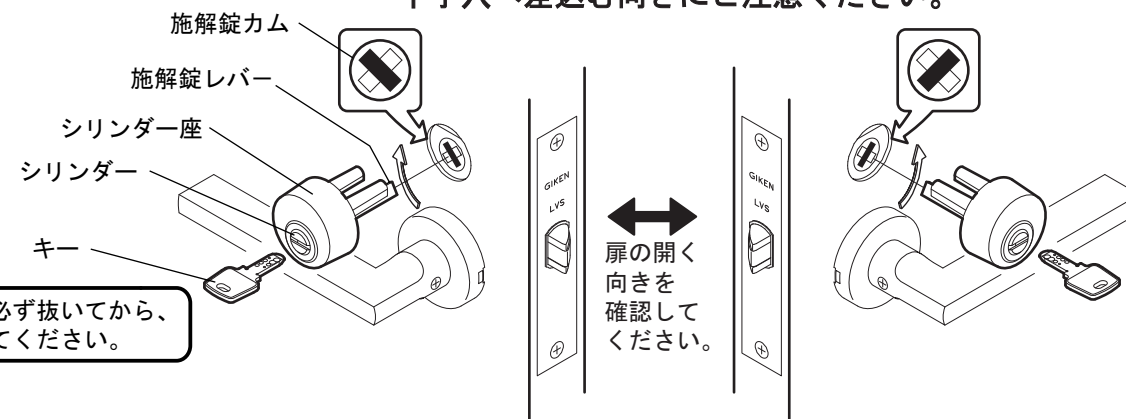
ハンドル止メネジが緩むと、ハンドルが  
外れて作動出来なくなる場合があります。  
手回しドライバーでしっかり締付けてください。

## 取付方法

- 裏面の取付型紙を利用して、扉に彫込みをしてください。
- ラッチボルトを指で押込んでみて、ラッチボルトが押込める解錠状態であることを確認します。  
ラッチボルトが押込めない場合には、施解錠カムをドライバー等で回してラッチボルトを押込める状態にしてください。
- 錠本体を「上」刻印を上にして扉に挿入し、扉の開く向きに合わせてラッチボルトを回転させます。  
「G I K E N」刻印の向きを合わせてフロントプレートを取付け、錠取付皿木ネジで固定してください。
- 呼込足付裏座を錠本体の芯出し穴に差込み、裏座と座呼込ネジで締付けてください。
- 内外のカバーを、裏座の切欠きを合わせてはめ込んでください。
- ハンドルは角芯付ハンドルを室内側に取付け、ハンドル止メネジでしっかり取付けてください。  
ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります。  
その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取付けてください。

**注意** 施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、  
正常動作できなくなりますので、ご注意ください。

十字穴へ差込む向きにご確認ください。



キーを必ず抜いてから、  
取付けてください。

- シリンダー座の取付けでは、キーは必ず抜いて取付作業をしてください。キーを差込んだ状態で取付けると正しく施解錠出来ない場合があります。
- 扉の開く向きに合わせて、施解錠レバーを矢印の方向に傾け、施解錠カムの十字穴の黒塗側(上図参照)に通します。
- サムターンを縦にしてサムターン座とシリンダー座を組み合わせます。
- 扉を開けたまま、サムターンを回してハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、サムターンの動きの良い所でサムターン座取付ネジを締付けてください。



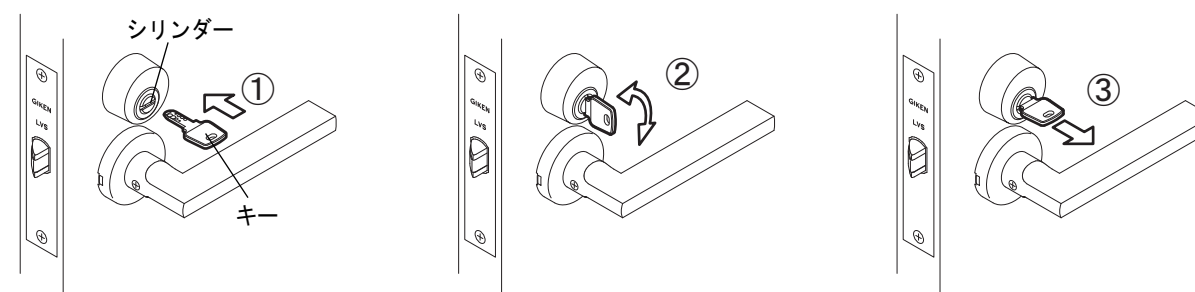
### サムターンが動かない場合

シリンダー座を外し、施解錠レバーの向きを確認し取付けてください。

- 裏面を参考にして、調整ストライクをラッチボルトの位置に合わせて取付けてください。

## キーによる施解錠方法

- キーを横にしてシリンダーに差込みます。
  - キーを90度回転させて縦にしてから、90度戻します。
  - キーを横の状態で抜きます。
- ※解錠は施錠時と逆方向に回転させます。



**注意** 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認してください。

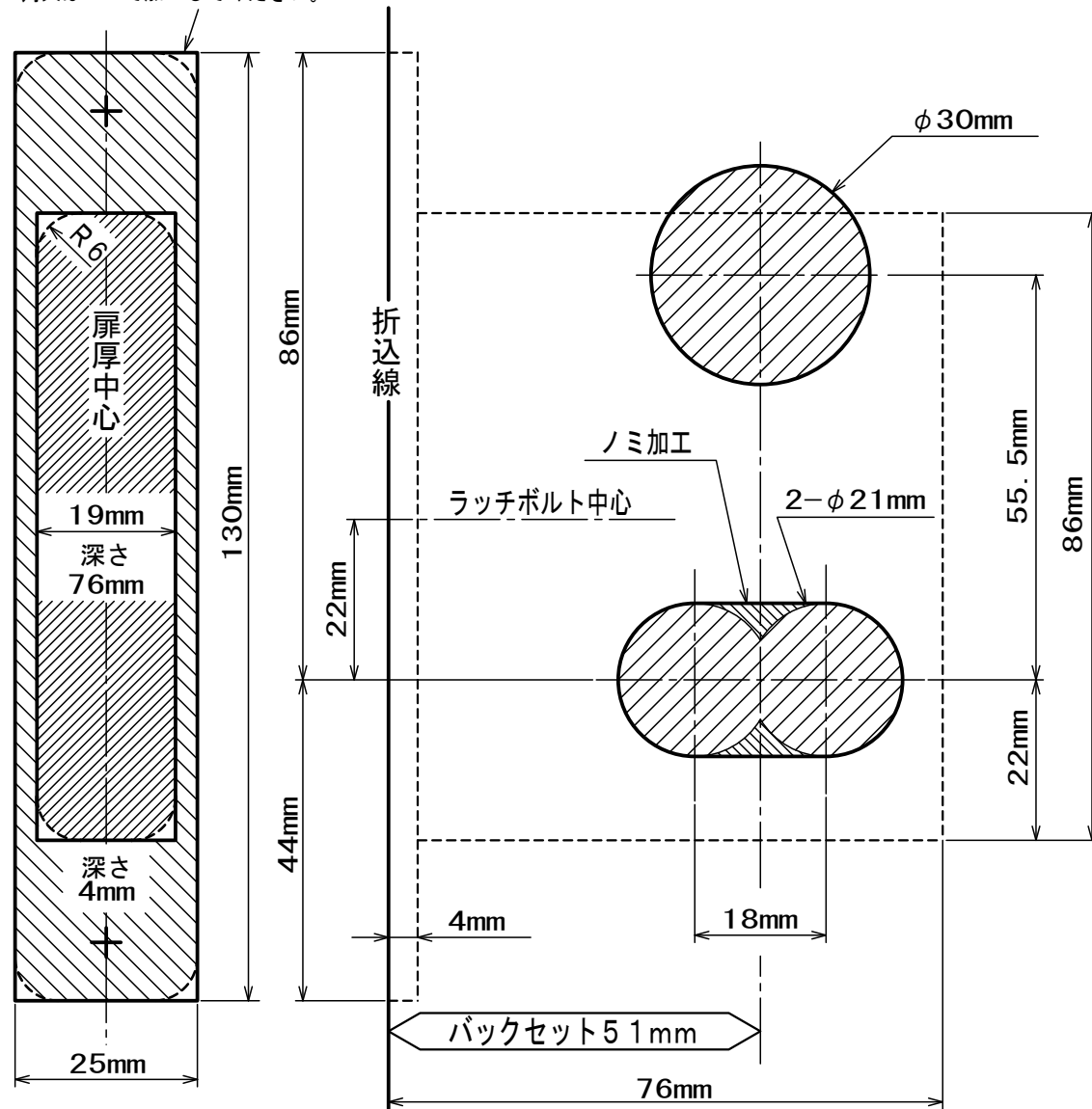
# 取付型紙

使用可能扉厚 28~40mm



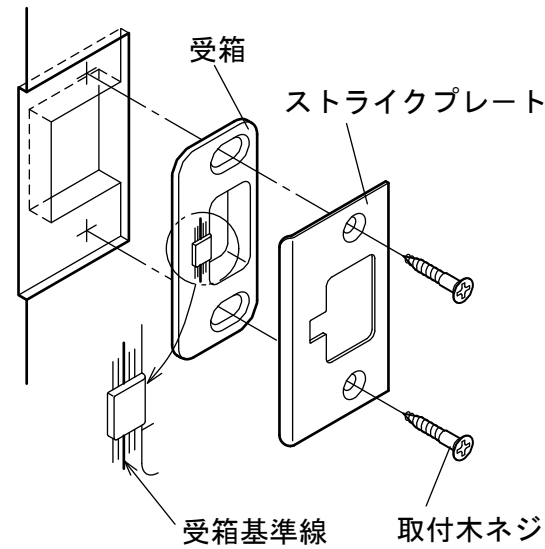
※取付型紙をコピーして使用する場合は、原寸大である事を必ず確認してください。  
 ※錠本体の厚みに合わせて19mmで彫込んでください。  
 彫込みが広すぎると、錠本体とドアの隙間が大きくなるため、座の取付けるネジを強く締むとドアがへこむ恐れがあり、カバーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。

フロントプレートの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。

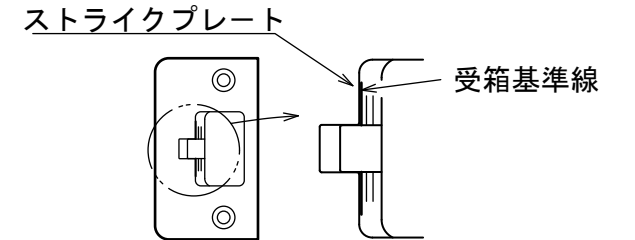


# 調整ストライク (S25) 標準品 取付方法

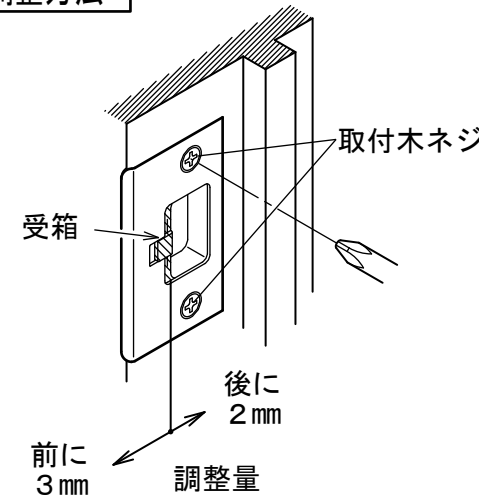
オプション品をご使用になる場合は、専用の彫込みを行なって下さい。



1. 取付型紙を利用して、枠に彫込みをして下さい。
2. 受箱基準線をストライクプレートに合わせた状態(調整基準位置)で仮止めて下さい。
3. 「受箱の調整方法」を参考に、ラッチボルトとのガタがなくなるよう調整し、取付木ネジを締付けて固定して下さい。

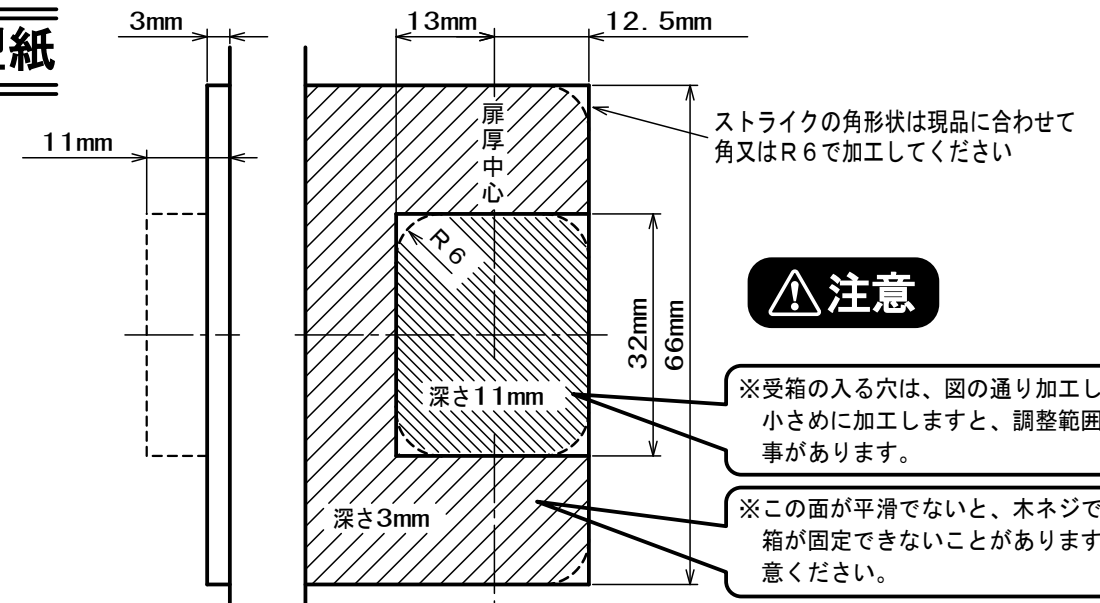


## 受箱の調整方法



1. 取付木ネジを、2本ともゆるめます。
2. 受箱を動かして、ラッチボルトのガタがなくなるようにします。
3. 取付木ネジを2本とも締付け、固定します。

# 取付型紙



※受箱の入る穴は、図の通り加工してください。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。

※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意ください。